

博報堂 D Y ホールディングス、Acompany の秘密計算技術を活用し、
企業の機密情報を守りながら生成 AI を高度化する新技術
「AI CleanRoom with HDY Knowhow」を開発

株式会社博報堂 D Y ホールディングス（東京都港区、代表取締役社長：西山泰央、以下 博報堂 D Y ホールディングス）の 研究部門である Human-Centered AI Institute は、株式会社 Acompany の秘密計算技術（※1）と RAG 技術（※2）を活用し、企業の機密情報を保護しながら生成 AI を利用できる新技術「AI CleanRoom with HDY Knowhow」を開発いたしました。本技術は、博報堂 D Y グループ独自のマーケティングノウハウを、企業の生成 AI が安全に参照できる仕組みです。これにより、各企業は、情報漏洩のリスクを低減させ、自社の生成 AI から、より生活者発想を活かしたアウトプットを得られるようになります。

（※1） 秘密計算：データを暗号化したまま計算できる技術のこと。

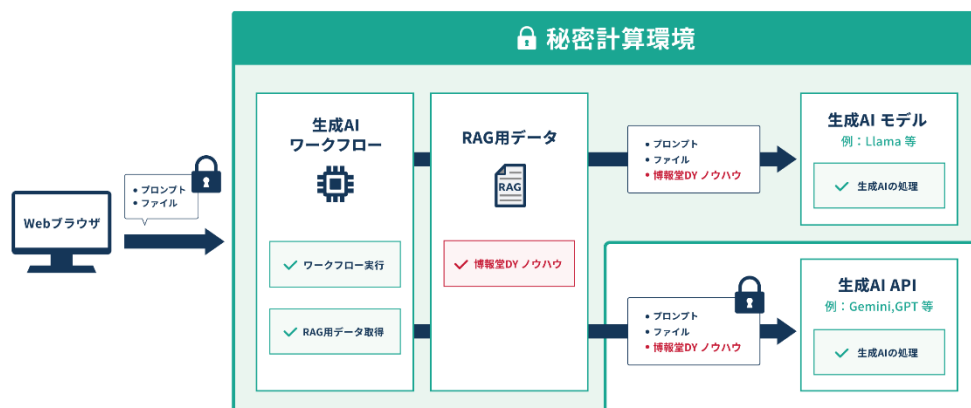
（※2） RAG：Retrieval-Augmented Generation の略。 質問に対し関連するデータを検索し、それを基に大規模言語モデル（LLM）が回答を生成する仕組みです。

Hakuhodo DY holdings

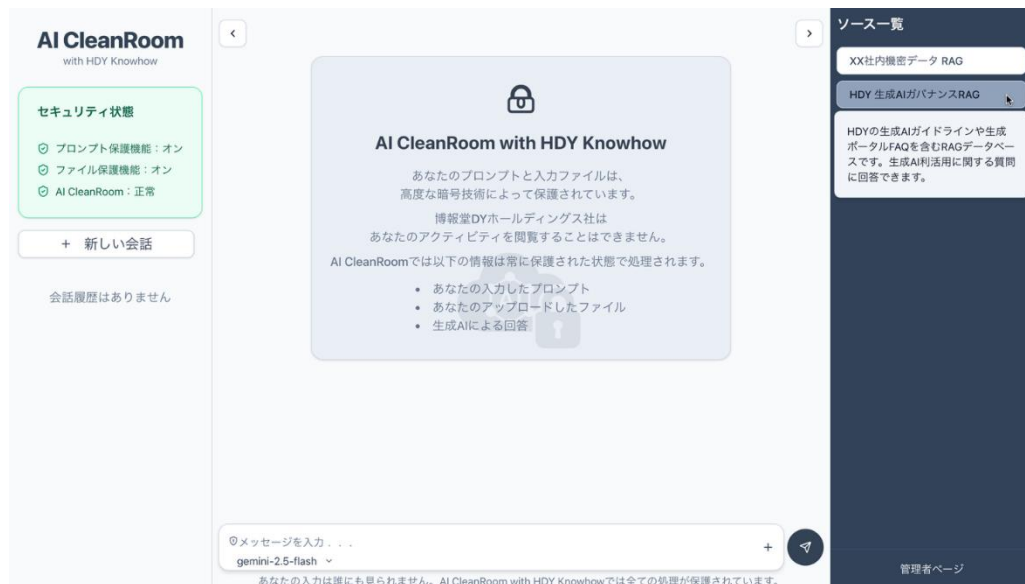


近年、多くの企業で生成 AI の活用が急速に進む一方、個人情報や企業独自の機密情報といった秘匿性の高いデータは、セキュリティやプライバシー保護、コンプライアンス上の懸念から生成 AI への入力が困難であり、活用の大きな障壁となっていました。

このたび開発した「AI CleanRoom with HDY Knowhow」は、Acompany の強みである秘密計算技術を用いることで、企業内のユーザーが入力したプロンプトや機密情報はすべて暗号化されたまま処理されます。この安全な環境（秘密計算環境）で、博報堂 D Y グループが長年蓄積してきたマーケティング知見や生活者データを RAG として連携します。入力された情報は、博報堂 D Y グループや Acompany を含むいかなる第三者も閲覧できない仕組みのため、企業は安心して自社の重要データを活用できます。これにより、一般的な生成 AI の回答に比べ、生活者のインサイトを深く捉えた事業アイデアの創出や、マーケティング戦略の立案など、より専門的で実践的なアウトプットが可能となります。



「AI CleanRoom with HDY Knowhow」の仕組み



「AI CleanRoom with HDY Knowhow」の操作画面イメージ

博報堂DYホールディングスとAcompanyは、本技術を通じて、企業の安全なデータ利活用と新たな事業価値の創出、人間中心のアプローチでのAI活用に貢献することを目指します。今後、本技術を活用した新サービスの展開を検討してまいります。

<株式会社 Acompany 概要>

社名：株式会社 Acompany

代表者：代表取締役 CEO 高橋亮祐

所在地：愛知県名古屋市西区那古野 2 丁目 14 番 1 号なごのキャンパス

設立：2018 年 6 月

URL：<https://acompany.tech/>

事業内容：秘密計算に関連した製品・技術と、機密データ活用に関するコンサルティングサービスの提供

【リリースに関するお問い合わせ】

株式会社博報堂DYホールディングス グループ広報・IR室 倉品

koho.mail@hakuhodo.co.jp

株式会社 Acompany 広報担当 pr@acompany-ac.com

【事業に関するお問い合わせ先】

株式会社 Acompany お問い合わせフォーム：<https://acompany.tech/contact>